

町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会（第14回）

議事要録

- 日時 2017年5月31日（水）18時30分～21時00分
- 場所 忠生市民センター 2階ホール
- 出席 委員：高橋会長、小林（静）副会長、太田委員、林委員、福岡委員、篠島委員、小林（哲）委員、八木委員、守屋委員、佐藤（臣）委員、彦根委員、中丸委員、田中委員、佐藤（早）委員、安藤委員  
（小山田桜台委員が現在1名解囑して空位）
- 欠席 0名
- アドバイザー : (欠席) 荒井 氏 (公益社団法人 全国都市清掃会議)
- 事務局 : 水島環境資源部長、田中循環型施設建設担当部長、宇野環境資源部次長兼3R推進課長  
循環型施設整備課：守田課長、布施担当課長、深澤担当課長、三浦統括係長、菊地主任、黒滝主任、鈴木主事  
環境保全課：大久保課長  
環境政策課：塩澤課長、高橋担当課長  
資源循環課：窪倉課長、林担当課長、田後担当課長、田中統括係長  
3R推進課：桑原3R普及担当課長  
コンサルタント：株式会社日建設計  
事業者：株式会社タクマ、西松建設株式会社、株式会社三ノ輪建設、株式会社俊設計
- 傍聴者 0名
- 配布資料  
次第
  1. 確認事項
    - 資料1-1 第13回連絡会でのご意見・ご要望【抜粋】
    - 資料1-2 ご意見・ご要望に対する参考資料
    - 資料2 地区連絡会及び本事業に係る工事等のスケジュールについて
  2. 報告事項
    - 資料3 施設計画概要について
    - 資料4 工事説明会の報告
    - 資料5 工事協定書に関する報告
    - 資料6 施設名称について
  3. 事務連絡
- 提示資料 (パワーポイントによる投影説明、資料は当日回収)  
資料3 (投影・回収資料) 施設計画概要について

## 1. 委嘱式及び開会の挨拶

### ○ 委嘱式

委嘱状を委員(1名)に手交した。

### ○ 開会の挨拶

水島環境資源部長より、開会の挨拶を行った。

## 2. 確認事項

### ○ 議題1 これまでに頂いたご意見・ご要望について

資料1-1を用い、事務局から、第13回連絡会で委員から頂いたご意見・ご要望に対して検討した結果について説明した。引き続き、資料1-2を用い、事業者より前回の資料の修正した箇所と追加の説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・ **高橋会長** ゲートテラスへの動線について、一応対策済みということではよろしいか。それから梁の問題等は彦根さんから出た内容だが、今の説明ではよろしいか。
- ・ **彦根委員** 今後の計画によると思う。
- ・ **守屋委員** 4つの事業コンセプトの1と3で、再生可能エネルギー等の採用を追記いただきましてありがとうございます。その中で、参考資料1-2で緑地を積極的に取り入れるという文言があるが、施設の外観デザインの中で、緑地を積極的に入れる部分があるかどうか。ない場合、この表現を緑地ではなく、緑化とし、修正したほうがよいのではないか。
- ・ **事業者** 建物と緑地を一体的にデザインすることを予定しており、敷地の南側や西側は積極的に緑地にしていくということを考えている。また、敷地の北側、既設の工場の跡地についても緑地を主体としたような整備を計画しており、それに加え、屋上緑化や壁面緑化等を建物にも取り入れている施設のデザインを考えている。
- ・ **守屋委員** そうすると、周辺環境との調和を図るデザインの中に、緑地の言葉を入れておいた方がいいのではないかと思う。
- ・ **事務局** 緑地を確保し、緑化空間を展開すると御理解いただきたい。

- **高橋会長** スカイテラスに小型風力発電や太陽光発電があるが、どの程度の規模のものを設計に盛り込むのか。
- **事業者** 太陽光発電に関しては15kWを予定している。
- **事務局** この施設は環境学習の場となり、自然エネルギーの仕組み等を勉強してもらう場となる。ただ、規模が小さくみずぼらしくならぬよう、考えながら計画進めるといふことで御理解いただきたい。
- **高橋会長** 余りお粗末なものだと、いい印象を持たないため、効果的な方法を考えていただきたい。教育的な効果を考えていただきたい。
- **中丸委員** 下からの見上げ視線配慮のために、テラスの手すりを50cm中に入れるとのことだが、約50cmずつ内側に手すりが入ると、幅の3分の1近くが減ってしまい通路が狭くなってしまふことを懸念する。幅が狭くなってしまふより、手摺下側に余り目立たない透き通らないものを入れたほうが、いいではないかと思う。
- **事業者** 今回は方法の1つの案であるため、実施設計にて方法を検討する。
- **高橋会長** 視線を気にする余り利用可能面積が狭くなったのでは本末転倒であるため、工夫していただきたい。
- **田中委員** 相当多くのガラス等を使ってデザインされているが、遮光ガラスや二重のガラスというような計画には含まれているのか。
- **事業者** 複層ガラスは当初から計画している。また、空調や遮光性のあるブラインド等も含めて実施設計の中で検討する。
- **事務局** 先ほど階段の部分について、2カ所の階段が近いことや入り口をゲートパークとして広場のように計画しているため、その際に階段を配置したらどのようなになるかという点を、事業者と市で協議しながら、どのような形が望ましいのか調整させていただきたい。結論が出た後、改めてまた御報告をさせていただく。
- **高橋会長** 階段は入るけれども、形については今後決めるということか。
- **事務局** 階段を設置する、しないも含めて検討する。ゲートパークという玄関口になる計画も踏まえ、階段がほかの計画に影響しないのかも検討しながら調整させていただければと思う。
- **高橋会長** では、具体案が出た時点で、また説明していただく。

○ 議題2 町田市熱回収施設等（仮称）整備運営事業に係るスケジュール

資料2を用い、事務局より今後の地区連絡会及び本事業に係る工事等のスケジュールについて、説明を行った。

（以下、質疑応答）

- ・事務局 解体工事について、2018年3月になっているが、工事説明会で説明させていただいたとおり、2018年の5月頃まで予定している。
- ・高橋会長 土壌汚染について、管理棟で重金属を使ったというのはどのような経緯か。
- ・事務局 管理棟の真ん中あたりに実験室があり、当時廃棄物に関するものやそこから出る水などを分析した経緯がある。そこに保管されていたものに重金属があった。それ以外は特にはなかったため、今回はこれの測定をしたということである。
- ・高橋会長 土壌汚染については、前回も申し上げたが、いろいろなところで注目されているため、もう少しわかりやすくまとめた資料をつくっておいてほしい。御心配される方がおられ、そのような話になったときに、我々も説明できるよう準備しておきたい。ポイントをまとめてぜひ説明資料をつくっていただきたい。
- ・事務局 了解した。

3. 報告事項

○ 報告事項1 施設計画概要について

資料3を用い、施設計画概要について説明を行った。

（以下、質疑応答）

- ・小林（哲）委員 全体配置計画に事業者駐車場があるが、動線の計画としてどのようなルートになるのか、教えていただきたい。
- ・事業者 事業者駐車場は、西側から入り、市民搬入車と同じルートを通り駐車することを考えている。
- ・彦根委員 耐震基準1.25倍は、工場棟だけか。管理棟はどのようになっているか。
- ・事業者 管理棟も含めて1.25倍である。
- ・彦根委員 煙突、管理棟、工場棟、全てということよろしいか。

- ・ **事業者** 煙突は高さが100mあり、超高層ビルと同じように地震応答解析という方法で設計するため、耐震基準1.25倍とは別の基準で設計することになる。
- ・ **彦根委員** 了解した。また、避難所という言葉が出てきているが、この避難所はどういう避難所か。学校のような避難所で、宿泊ができるのか。あと運営方法はどのようなのか。いろいろ問題が出てくるが、その辺はどのように考えていまか。また対象人数は何人程度か。
- ・ **事務局** 今回の資料はイメージを載せているものであり、実際の運営についてはこれから検討しなければならない。今回新しくする施設を、避難所、避難施設として指定することになっているため、災害があった場合には、市民の皆さんに開放して、避難所として活用する形になる。具体的には、これからどのように扱うか検討させていただく。
- ・ **林委員** 今の件関わるが、我々は今実際に災害避難施設の取り組みを行っており、10月に函師小でやるのだが、ここだと非常に距離が近い。ここは地域などを限定せず、開放するということか。
- ・ **事務局** 避難施設であるため地域の方が基本的には対象になろうかと思うが、どのような形の避難施設にするか今後検討したい。ただし、遠い方だとなかなか来られないということで、基本的には周辺地域の方の避難所という形で考えている。
- ・ **守屋委員** 管理棟の防災機能（案）や市民利用エリアの計画（案）があるが、中身をどういう扱いにするか等、大体決まっているのではないか。だから、どういう使い方、どういう利用サービスかを考えていくのは、今後の連絡会の中で議論するということでよろしいか。
- ・ **事務局** 管理棟の中の市民の皆様に使っていただくスペースについては、用途・種類・規模について、前にいろいろ御検討いただいて決まっているため、その使い方や施設の運営については今後の地区連絡会の中で検討を進めさせていただきたい。
- ・ **安藤委員** 避難施設として使える範囲の合計面積というのはどのぐらいあるか。避難施設として使える面積から、収容人数が大体わかると思う。
- ・ **高橋会長** ただ、大きなコンセプトとして、災害に強い、災害のときに役立つような施設というのが我々のお願いであり、コンセプトに入っているわけなので、後から使い方を考えるだけでは済まないような気がする。全体として防災機能を重視する場合には、会議室をつくれればいいのだということで済まない部分もあるのではないかと思います。

そこに防災機能を持たせるためには、例えばそこに寝泊まりする場合に、ただ単なる床よりはこういうところがいいとか、多少そういう防災という面から考えた横串を通したような考え方で全体設計をぜひ検討していただきたい。

- **事務局** 面積について、今試算しましたら、市民の皆様には開放する会議室、多目的室、研修室については、合計で約400m<sup>2</sup>である。ほかにオープンなエリアもあるため、そういうところを含めればもう少し広く活用できるのではないかと思う。
- **田中循環型施設建設担当部長** 町田市での防災という観点から考えると、この施設も市の中の大きな組織の中で考えなければいけない一部だと思っている。図師小とのかかわり合いもあるため、その辺のかね合いを市の全体の中で協議をさせていただき、中の使い勝手は地区連絡会で御検討いただくということで、今後すり合わせていきたいと考えている。また御協力のほうをお願いしたい。
- **小林（静）副会長** 今400m<sup>2</sup>程度とのことだが、例えば会議室や多目的室などもオープンスペースにできるように、災害時に壁が撤収できるような工夫もしてもらいたい。細かい部屋が何部屋あっても余り災害時に避難所としては意味ないため、そのような点も考慮いただきたい。
- **高橋会長** 防災という観点で、全体的な説明をどこかでお願いしたい。
- **篠島委員** 市民への情報公開という点について、環境測定結果というのに非常に関心を持たれると思う。どういう項目を数値にして、どこで公開するのかということをおらかじめ決めておいて御相談いただきたい。この現場以外での公開はするのか等含め、もう少し広くみんなが関心を持って見られるように、安心できるようにという配慮をぜひお願いしたい。事前に御検討いただきたい。
- **高橋会長** これは工場ではその表示方法、電光掲示板になるのか等具体的にお考えだと思う。他市では、工場ではなくて、離れた公共施設内で表示をしている事例がある。工場自体の設計の問題とは違うのかもしれないが、町田市としての問題もあると思う。
- **中丸委員** まず、焼却炉で燃やしたのは全部発電機ということのようだが、市民プールや温浴施設などにその温水には行かないのか。2番目に、バイオガスについては全部発電になっているが、燃料として使うという説明が前からあったと思う。3番目に、施設見学ルートの中に、太陽光発電や風力発電が1個も示されていないのはなぜか。
- **事務局** まず、蒸気の利用について、室内プールと温浴施設には蒸気を利用することになる。バイオガスについて、当初、計画のときには発電だけではなく車の燃料に使

う等も考えたが、コスト的な問題があり、現段階では全て発電に回すとなっている。事業者には提案を求めてもコスト等実現性の問題等があり難しく、現段階では発電に回すという形になっている。

見学ルートについては、外に出られるドアがあり、太陽光発電や風力発電の見学もできるようになっている。

・**中丸委員** 今の車の燃料とかに使わないというのは、質問して答えるのではなく、今まではこういうふうに計画していたけれども、それはこういう理由でやめて全部発電にするというふうに、最初に説明しなければいけないのではないかと思う。

・**事務局** おっしゃるとおりである。市のほうから、そのような考え方を十分に発信していなかったため、これからはきちんと説明をさせていただきたい。

・**高橋会長** 私がずっと前からこのバイオガスについて気になっているのは、防臭対策である。クローズドシステムで匂いがしないという説明でしたが、具体的には事業者が決まってからということ为先延ばしになっている部分もある。

例えばこのクローズドシステムについて、外部に触れる部分の防臭対策はどうなるのか。それと、こういう回転部分がある限り、これを開かないというわけにいかない。何年かに一度は開放点検があるだろう。開放点検があるときの防臭対策はどうするのか。それはどの時点で具体的な対策の話になるのか。

・**事務局** 今実施設計を始めており、検討が終了した時点で、地区連絡会でお話をさせていただきたい。

・**高橋会長** 考え方だけなるべく早く出していただきたい。詳細設計は業者にて進めるとしても、どのようなコンセプトで設計するということは、素人にもわかるような形でぜひ出していただきたい。

・**事務局** 次回、10月18日、地区連絡会で詳しい御説明をさせていただきたい。

・**高橋会長** もう一つ気になっているのが水銀の問題である。水銀の規制については、隣の相模原市が0.02でやっているとのことで、設計段階でそれに近づける可能性があるのかないのかも含めて検討するという町田市の御回答でしたが、この0.03について実際の運用基準としてはもう少し上を目指しているのか。東京都がやっているような湿式の水銀除去は採用されていないようだが、最新の技術で言えばもう少し高い値を目指せるのかどうかについてはいかがか。

・**事業者** 水銀の除去について、今回基本的には2段のシステムとしており、基本的に

はNo.1集塵機、No.2集塵機という形で二重化している。東京都の場合、処理方式自体が湿式の処理方式を使っているところはあるが、今回は乾式で2段とすることで、より水銀の除去効率を高めるという形で考えている。

- **高橋会長** しつこいようだが、例えば東京都など湿式でやっているところは、湿式で落とすのと、その前に吸着するのとダブルになっている。吸着するものは1段階だが、今回の場合2段階になっているからとれるのだと、そういうふうな御説明か。
- **事業者** そうである。乾式の場合でも1段でもとれるが、2段とすることでさらに安定的に低い値を目指している。
- **高橋会長** 値についてはいかがか、0.03という自主規制値だが、実際の運営上はどれぐらいを目指しているのか。
- **事務局** 水銀については、水銀大気排出規制が2018年の4月に施行される。既存は0.05に対して、今回の市の基準は0.03ということでかなり厳しい設定をしている。相模原市だと0.02というお話があったが、0.03も決して低い値ではありませんので、なるべく抑えるような形でこれからやっていくということである。
- **高橋会長** 自主規制値が0.03ということは、実際の運営上はそれを下回らなくてはならないわけだが、それはどれぐらいなのかという話である。
- **事務局** 今の段階で幾つを目指すかはお話しできる段階ではない。それについても次回以降にお話ができればと思う。
- **高橋会長** それでは、どこかの時点でなるべく早く説明していただきたい。
- **中丸委員** 排ガス処理施設を含めてのほかの基準について、法令基準値に対して低い数値にするのは地元の町内会としては非常にありがたいが、施設から離れた住民だとしたら、規制値を下げるためにお金かけなくていいのではないかという考え方もある。これを達成するまでには相当の金額になると思うので、法令の基準値を下げることに、町田市の規制値に全国的に下げよう運動をするべきだと思う。  
また、運営開始後の調査結果は、自主規制値に対して守っているという説明していただきたい。なお、オーバーしたときは何か対策をしてくれるのか。
- **事務局** 自主規制値を超えた場合は、運転を停止し、原因を究明し、対策をして、安全な状態でまた施設を稼働するという形になると思われる。まず自主規制値を超えたら運転は停止するという御理解いただきたい。

また、当然自主規制値を守っていくことになるが、かなり厳しい自主規制値である



ため、それを町田市から国に対して言えないところもある。このような形でやっているというPRはできると考えている。

- **中丸委員** 埋立地の利用のときには、町田市の自主規制値はないのか。
- **事務局** 埋立地は運転しているわけではなく、今ある環境基準を使って安全の確認をしている。ごみの施設と最終処分場は違いがあることを御理解いただきたい。
- **中丸委員** 埋立地のほうもこういうふうになければ安全ではないと言いたくなるのではないか。
- **高橋会長** 排ガスは直接人間が吸うもので、埋立地の場合は中の土壌の程度であり、大きな違いがあると思う。この自主規制値自体は、検討委員会で全国のいろいろなものを調べて、最新の技術で極力低くしてもらっている。
- **中丸委員** 自主規制値を超えたら工場をとめるということは絶対的な約束か。
- **高橋会長** 今後環境保全協定を結んで、地元と約束するというところで進んでいる。
- **事務局** 自分で決めた値であるため、守れなかったらそれは当然そういう形になる。  
また、この自主規制値を決めたのは、施設の建設の目的の1つに、周辺環境負荷の低減というところがあるためであり、そういったより厳しい値を設定した施設にしていることを御理解いただきたい。
- **安藤委員** バイオガスの排ガスはどうか。そういったものが除去できるのか。どういう方法で除去されるのか、説明が欲しい。
- **事業者** バイオガス発電から出るものに対し、定められた排ガス規制値はない。
- **高橋会長** バイオガスの発電の燃焼した後のガスというのは、全体の焼却炉のガスと一緒にするのか。
- **事業者** ガスエンジンであり、その排気に対しては特に法令というものがない。ガスエンジンの排気は単独で屋外へ出す形になる。
- **高橋会長** 規制があるかだけではなくて、一応排ガスであるから、何も処理せずに出していいのだよというのはちょっと納得できない。
- **事業者** バイオガスの発電機は、一般的なポータブル発電機というイメージを持っていただければと思う。エンジンがあり、排気の部分に排ガスの抑制する装置がついており、発電機単体で排ガスの制御、処理をしているという考え方になる。
- **高橋会長** ガスエンジンというのはわかるが、その排ガスの安全性や排ガスを処理せずそのまま空中に放出していいということは、説明がないとそれは疑問に思う。

- ・ **田中循環型施設建設担当部長** 発電機単体で仕様があるため、その仕様について次回の10月に示させていただきたい。
- ・ **高橋会長** ガスを処理する仕様はなく、どのような排ガスが出るという、仕様はあると思う。一般的な排ガスの成分の予定表を出してください。
- ・ **田中循環型施設建設担当部長** バイオでつくったガスは、エンジンを回すためのガスであり、その排気の特徴をお示ししたい。
- ・ **高橋会長** バイオガスがどういう組成になって、それから何がどう出てくるかというのはわからない。それをきちんと説明してもらわないと、困る。
- ・ **安藤委員** 今の田中担当部長の回答は、バイオガスの発電機のほうを指しているが、バイオガスの施設全体を見てみると、その前に発酵槽があり、燃やせるごみとして持ち込まれたものの中に変なものが入っていたら、ずっと流れていくことになる。それを取り除く等のプロセスが説明されていない。全プロセスでそのようなものをどう考えるのか。リスクがあるのだったら、どうそれを少なくするのか、説明が欲しい。
- ・ **田中循環型施設建設担当部長** わかりました。全体の中での処理という形で、10月のときにお示しする。
- ・ **彦根委員** 今回の発酵槽は、南但と同じものかどうか知りたい。南但の施設はメンテナンスフリーと言っていたが、そんなことはあり得ないので、どのように考えておられるか、聞かせてもらいたい。
- ・ **事業者** 構造も含め、基本的には南但と一緒にある。メンテナンスフリーという表現に関しては、基本的には微生物を入れてごみを入れてずっと発酵しているようなもので、ほぼ連続運転しており、そのように表現されていると思う。
- ・ **彦根委員** 南但と同じという形であれば、軸封部にメカニカルシールがあったり、ゲートバルブがあったり、送るポンプがプランジャ式だとか、絶対メンテナンスが必要になると思う。その際、あれを開放するということになる。その場合に、この中に残っていた発酵残渣は本当に全部出し切るのか。その際に、外にガスが漏れないように地域を囲って中を負圧にして作業するとか、そういうような方法をとらないとメタン発酵槽の匂いが外へ出ていってしまう。そういうことができるような設備にしてもらいたい。今は屋根もなく開放になっているため、その辺を検討していただきたい。
- ・ **高橋会長** 先ほど私のほうからお願いしました防臭対策の一環であるため、10月の時点で全体的な説明をお願いしたい。

- ・ **高橋会長** それでは、私のほうから何点か。この施設全体は災害に強い施設だというコンセプトできているが、実は町田市の防災計画では、富士山の噴火により大体火山灰が15cmぐらい積もる地区になっている。噴火に対しては、何か設備対応が必要なのではないか。何か配慮がなされているのか。
- ・ **事務局** 噴火に対する基準はない。地域防災計画とかそういった噴火の対応とかと、そういうところを確認させていただいて、施設というよりも二次的な対応でどのようなことができるかというのは考えさせていただきたい。
- ・ **高橋会長** そういうことではなくて、災害が起こったときになるべく継続運転、早期復旧ができるような設備にしたいとのことだが、火山のときはどうなのかと。多分回転機が外気を吸い込んで、灰を吸い込んでとまるようなことないのか。そういうことに対し、設計段階でできることがないのかといったことである。
- ・ **事業者** 外気を吸って火山灰が入るまでの検討は、現状してないが、考えられる状況、例えば電気室等に灰が入る想定に対しては、電気室等には防塵対策を見込んでいる。焼却施設に関しても、基本的にはダイオキシン管理区画等での防塵区画指定もしているため、灰が直接工場棟内に入ってくることはないような形では計画はしている。
- ・ **高橋会長** ぜひ一度、リスク管理的な目で検討していただきたい。

また、ソフト面の話として、教育的な啓発的な機能を持たせるというお話があったが、ここにごみ減量を促進・啓発するようなものを入れていただきたい。なかなかごみの減量が進まない中、この焼却設備は既に能力を削減した設備になっており、減量が進まないことにはパンクする可能性もあるということであり、含めていただきたい。

それからもう一つだけ、運営については企業体をつくり、そこがオペレーションをするとのことだが、現在地元の雇用で、ある程度の人が働いているため、その関係は将来どうなるのかも、確認したい。
- ・ **事務局** MRCサービスのことだと思うが、基本的には、新しい施設でも今の地元の業務は継続する形で考えており、その部分は事業者の業務には入れてないような状況である。
- ・ **中丸委員** バイオガス施設をつくることについては、バイオガスを使ったガスを燃料に使うからこのバイオガス施設が必要だと思っていたが、それを全部発電するとしたら、これをやる意味がないと思う。この施設があることによって発電量がどのくらい多くなるという答えがないとおかしいと思うので、教えていただきたい。

- ・ **事務局** まず、バイオガス施設は燃料を利用するというよりも、今、市で取り組んでいるごみ減量を進める上で、現状焼却している生ごみと紙ごみについて減量するために資源化が必要とのことで、市民の皆さんにいろいろ検討していただいた結果、資源化をするためにバイオガス化施設を整備することになったことを御理解いただきたい。
- ・ **中丸委員** 資源化というのは、電気にするだけか？
- ・ **事務局** 発酵してバイオガスを取り出し資源化をするという形である。バイオガスの利用については燃料にする利用の方法があるがそれについてはさらなる検討が必要ということで、整備計画の中でうたわせていただいたが、その後いろいろ検討して、今回は発電に利用させていただくということで説明させていただいている。
- ・ **中丸委員** バイオガス化してそれを発電する方がいっぱい発電できるということにならないと、つくる意味がない。
- ・ **事務局** 環境負荷の低減という点で、燃やすごみを少なくして二酸化炭素の排出を抑えることが大きなところである。燃やさないで何か有効利用できないかというところの観点で、バイオガス化施設を整備することになっている。

整備基本計画を策定する上位計画の中に一般廃棄物資源化基本計画という中で燃やさない、埋め立てない、ごみになるものをつくらせないという3原則がある。その中にごみとして処理する量を減らしましょうという概念があり、それを実現化するために町田市のごみも資源化できる方法はないかということで、バイオガス化施設の検討が進められた。
- ・ **事務局** バイオガス化施設という方向性が出た後に、出てきたガスをどのように利用しようかというお話をまた検討させていただいて、エネルギーとして効率的に使える方法を検討した結果、一番効率的なのが電気にする方法だったという経過がある。

ほかに、バイオで出た残渣を燃やすことに関しては、補助燃料としてまた再度エネルギーに変えられるということで、バイオガス化施設から出てきたものはガスとしてエネルギーにできて、残渣も熱エネルギーに変えられるというのが、整備基本計画で出させていただいた方針である。
- ・ **中丸委員** バイオガス化して焼却する残渣は何割程度か。プラスはどういうふうになるよということを聞きたい。
- ・ **高橋会長** バイオガスを取り出した残渣あるいはバイオガスそのものについては、将来、いわゆるクリーンエネルギーとして使えるという可能性あり、取り出した後の残

渣についても、ある自治体ではその残渣をかなり乾燥させて、それはセメントのキルンの中に持って行って利用するというをやっているところもある。これは2つとも可能性の問題だが、単に燃やすよりは将来もう少しきちんと処理できるような可能性があるのでないかという点が、私はメリットだと思っている。

この議論はやめましょう、申しわけないけれども。

- **中丸委員** やったほうが有利だよということを、ここにいる以上は今度聞かれたときに答えたい。
- **事務局** 今日はお時間がないため、別な機会でご説明させていただく。

## ○ 報告事項2 工事説明会の報告

資料4を用い、工事説明会の報告を行った。

### (以下、質疑応答)

- **小林（静）副会長** 工事の関係、恐らく周辺の方とかダンプの通路等々でいろいろ住民の方から苦情が出ると思うが、工事関係者ではなく、市でその窓口をしっかりとさせていただきたい。その辺のことについてはどう考えているのか。
- **事務局** 事業の主体は市であるため、当然市が適切に対応する形で考えている。事業者にお問い合わせをしても必ず市に情報が来るようにし、皆様の意見や要望をきちんと把握をして適切な対応をするように考えている。
- **小林（静）副会長** 広報紙等で窓口の電話番号などはっきりさせていただくことでよいか。
- **事務局** 改めて広報紙等でちゃんとお知らせしたい。
- **高橋会長** 函師小学校との通学路等の打ち合わせというのは予定されているのか。
- **事務局** ほかの近隣の学校については、きちんと説明する予定であり、工事前には必ず説明をさせていただく予定である。
- **高橋会長** それから、例の通学路の信号の設置も、ぜひ強力にお願いしたい。
- **事務局** 信号の設置につきましては、設置する方向で警察と協議している。
- **中丸委員** 跡地の整備計画で、この残土を埋立地の跡地に有効利用することは無理なのか。
- **事務局** おっしゃるとおりだと思うが、埋める際には終了届という手続が必要でして、

そのための対策工事等が必要になるため、今年の10月からの土工事には間に合わず、今回のリサイクルの工事の残土をそちらに埋めるということとはできない。ただ、無駄なお金を使わないように、ほかの公共工事から持ってくる等、無駄のないようにやっていきたいと思っていることは御理解いただきたい。

### ○ 報告事項3 工事協定書に関する報告

資料5を用い、工事協定書に関する報告を行った。

#### (以下、質疑応答)

- ・ **彦根委員** 4条の2項、「十分配慮して作業を行うものとする。」となっているが、これも同じように直しておいたほうがよい。
- ・ **事務局** ほかに未修正の箇所を修正する。
- ・ **高橋会長** それから、この協定期間は記載があるか。
- ・ **事務局** 有効期間、第2条のところに書かせていただいている。「全ての引き渡し完了する日まで」ということで、外構工事が全て終了した2024年の6月末を今は予定している。
- ・ **高橋会長** 協定締結日というのは、これは着工するときに間に合うのか。
- ・ **事務局** 現在7月の着工前には締結をする予定でいる。
- ・ **小林（静）副会長** この協定書には書いてないが、例えば工事に起因して地域住民が莫大な被害に遭って、賠償責任が起こって、工事の会社では賠償できなかった場合には、最終的には市で賠償責任を負うのか。その辺の文章は、こういう中に入れなくていいのか。
- ・ **事務局** 工事の際のそういった損害云々につきましては、契約書の中で記載されており、当然業者が責任を持ってやることになる。工事協定書については工事をどのように実施するかをお示ししている。
- ・ **小林（静）副会長** 契約書に書いてあるということによいか。最終的には、もし工事の会社が賠償責任をとれない場合には、市が責任とるのか。
- ・ **事務局** 事業者側の保険等の対応がある。
- ・ **小林（静）副会長** 連帯責任ということではなくて、あくまでも事業者の責任ということか。

- ・ **事務局** 基本的にはそうである。事業者の原因で起こしたものについては、事業者のほうで対応する。
- ・ **高橋会長** ただ、基本的には、町田市が発注者なので、一義的には町田市だと思う。ただ、町田市と建設会社の方との間で責任分担というか、それは恐らく全体契約の中に入っていると思う。そういう理解でよろしいか。
- ・ **事務局** 会長のおっしゃるとおりである。

○ 報告事項4 施設名称について

資料6を用い、施設名称に関する説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・ **高橋会長** PRもあるため、これについては事務局案を示していただくということด้วยい。

4. 事務連絡

○ 外観デザイン案の公表について

- ・ **事務局** 外観デザインの関係について、最終的にA案のデザインが決定した点を公表する形になっている。全体のプロセスやA案に決めた理由などを、記載しており、こちらをもって、ホームページとか広報誌等に掲載して公表したいと考えている。
- ・ **中丸委員** 決定したのだから、もうこういうふうに決まりましたでいいと思う。
- ・ **事務局** ただ、今まで外観デザインについては3案提案の中から1案地区連絡会で検討して選ぶとお知らせしている経過があるため、3案の中から1案選んだということで、公表したいと考えている。
- ・ **高橋会長** 公表については、こういう案に決まりましたで、私はいいと思う。それを出したところで、極端な話、市民の方には選択の余地がないわけである。
- ・ **事務局** 一方で情報を出さなくてはいけないというところもある。もう一回、考えさせていただきたい。
- ・ **高橋会長** ぜひそちらの方向で考えていただきたい。

○ 次回地区連絡会について

- ・事務局 次回は10月18日（水）の午後6時半から、場所は同じく忠生市民センターでの開催とする。

5. 閉会の挨拶

田中循環型施設建設担当部長より、閉会の挨拶を行った。

（21時04分 閉会）